

# 小学生の 音楽

## 2

## 指導者用デジタル教科書（教材） 音声テキスト

本資料は「指導者用デジタル教科書（教材）」に収録されている映像資料の音声をテキストにしたものです。本教材に関連した資料を作成される際の参考として、ご活用ください。なお、音声解説の無い映像資料は、一部割愛しております。

### 目次

P. 7	メッセージ	2
	しゅわ	
	手話：おはよう	2
	しゅわ	
	手話：ありがとう	2
	しゅわ	
	手話：さようなら	2
P. 15	2びょうしの手あそび	3
P. 15	2びょうしで リズムあそび	3
	2びょうしで リズムあそび1	3
	2びょうしで リズムあそび2	3
P. 17	3びょうしの手あそび	4
P. 17	3びょうしで リズムあそび	4
P. 21	うたごえ	4
P. 28	さがして つくろう	5
	がくしゅうかつどう	
	学 習 活 動 1	5
	がくしゅうかつどう	
	学 習 活 動 2	5
	がくしゅうかつどう	
	学 習 活 動 3	6
P. 30	虫の こえ	7
	うまおい	7
	くつわ虫	7

	こおろぎ	7
	すず虫	7
	まつ虫	7
P. 32	かいて みよう	8
	4分音ぷ	8
	4分休ふ	8
P. 36	かいて みよう	8
	8分音ぷ	8
	8分休ふ	8
P. 47	かいて みよう	9
	2分音ぷ	9
P. 78, 79	いろいろな がっき	10
	クラベス	10
	ウッドブロック	10
	小だいこ	10
	大だいこ	11
	もっ	
	木 きん	11
	てっきん	11

## P.7 メッセージ

<sup>しゅわ</sup>  
手話：おはよう

日本語の <sup>こ</sup>あいさつの ことばを <sup>しゅわ</sup>手話で あらわして みましょう。おはよう  
の <sup>しゅわ</sup>手話です。

まず 右手を かるく にぎって、<sup>あたま</sup>頭の よこから 下へ おろします。これは  
「<sup>あさ</sup>朝」を あらわして います。りょう手の 人さしゆびを むかい <sup>あ</sup>合わせて、  
人が おじぎ しあうように 人さしゆびを まげます。「<sup>あさ</sup>朝」と、「あいさつ」  
を あわせて、「おはよう」という いみになります。

<sup>しゅわ</sup>  
手話：ありがとう

「ありがとう」は、左手の 手のひらを 下にして、ゆびを そろえた 右手を  
左手の こうに いちど つけてから、かんしゃ するように 上に あげます。

<sup>しゅわ</sup>  
手話：さようなら

「さようなら」は、かた手を 左右に ふります。

---

## P. 15 2びょうしの手あそび

「1、2、1、2、1、2、1、2、できましたか？」

---

## P. 15 2びょうしで リズムあそび

### 2びょうしで リズムあそび1

はくにあわせて、一人ずつじゅんばんに「たんたん」のリズムをうって、リレーしましょう。それでは、はじめます。

はい、よくできましたね。

### 2びょうしで リズムあそび2

こんどは足ぶみと手びょうし、こうごにうってリレーしましょう。それでは、はじめます。

はい、はくにのってよくできましたね。

---

## P. 17 3びょうしの 手あそび

「1、2、3、1、2、3、1、2、3、1、2、3。」

---

## P. 17 3びょうしで リズムあそび

二人で むかい<sup>あ</sup>合い、はくに あわせて「たんたんたん」のリズムをうちましよう。それでは、はじめます。

はい、よく できましたね。

はくに のって、3びょうしを リレーしましよう。それでは、はじめます。

はい、はくに のって よく できましたね。

---

## P. 21 うたごえ

せなかを のばしたまま かたを 上げ、かただけを ゆっくり 下ろして、ほほえむ かんじで <sup>うた</sup>歌いましよう。こんな かんじに なって いませんか？ このように、せなかが まがって しまったり、そっくりかえって しまったり して いませんか？ また、このように ひょうじょうが かたくなると、のびのびとした <sup>あか</sup>明るい <sup>こえ</sup>声が出にくく なります。このように、正しい しせいで <sup>うた</sup>歌いましよう。

---

## P.28 さがして つくろう

### がくしゅうかつどう 学習活動1

家のまわりで聞こえる音や、生きものの鳴き声を見つけて、それを声であらわしてみよう。

どこで聞こえたか、どんなふうに聞こえたのかを、友だちにしょうかいしよう。

### がくしゅうかつどう 学習活動2

3人の組になって、見つけた音や鳴き声を、しょうかいしあいましょう。そのとき、強さや長さ、声の感じに気をつけて、つたえ合ひましょう。

「ぼくがきいたセミの声は、ツクツクボウシ ツクツクボウシと いうか  
んじで、高さがとちゅうでかわりました。」

「ぼくが見つけたセミの鳴き声は、中くらいの高さで、ジージー  
ジーと、すばやくくりかえしていました。」

「わたしは、ミーン ミン ミン ミーンと、おなかからカいっぱい出しているように聞こえました。」

がくしゅうかつどう  
学習活動3

3人が見つけた音をくあ組み合わせ、こえ声によるおんがく音楽をつくってみましょう。どんなくあ組み合わせにしたいかをはなあ話し合、じゅんばんやかさねかたをきめて、つくりましょう。

「わたしたちは、こうえん公園でな鳴いているセミのこえ声をくあ組み合わせ、おんがく音楽をつくりました。それでは、きいてください。」

よくできました。こえ声の感じもくふうして、たの楽しいふんいき気が出ていましたね。

---

## P. 30 虫の こえ

うまおい

うまおいの <sup>こえ</sup>声です。

くつわ虫

くつわ虫の <sup>こえ</sup>声です。

こおろぎ

こおろぎの <sup>こえ</sup>声です。

すす虫

すす虫の <sup>こえ</sup>声です。

まつ虫

まつ虫の <sup>こえ</sup>声です。

---

## P.32 かいて みよう

### 4分音ぷ

4分音ぷは、このように <sup>か</sup>書きます。さいしょに 玉を <sup>か</sup>書いて、つぎに ぼうを 上から <sup>か</sup>書きます。

### 4分休ふ

4分休ふは、このように <sup>か</sup>書きます。下から <sup>か</sup>書きます。

---

## P.36 かいて みよう

### 8分音ぷ

8分音ぷは、このように <sup>か</sup>書きます。さいしょに 玉を <sup>か</sup>書いて、つぎに ぼうを 上から <sup>か</sup>書きます。ぼうの あとに はたを <sup>か</sup>書きます。

### 8分休ふ

8分休ふは、このように <sup>か</sup>書きます。

---



## P.47 かいて みよう

### 2分音ぷ

2分音ぷは、このように <sup>か</sup>書きます。さいしょに 玉を <sup>か</sup>書いて、つぎに ぼう  
を 上から <sup>か</sup>書きます。

---

## P. 78, 79 いろいろな がっき

### クラベス

これは、クラベスです。かたい 2本の 木を うちあわせて、音を出します。手を <sup>まる</sup>丸くして、その上にかるくのせ、まん中あたりをうちます。それでは、えんそう します。

### ウッドブロック

これは、ウッドブロックです。ばちで うって 音を出します。右と 左で 音の かんじが ちがいますね。

### 小だいこ

これは、小だいこです。ばちは、このあたりを かるく にぎるようにもって、ばちのおもさをつかって、やわらかく ふり下ろすようにして うちます。また、うつ ばしょによって、音が かわります。<sup>ちゅうしん</sup>中心では、ひくい音が 出、<sup>そと</sup>外がわに いくにつれて、音は <sup>たか</sup>高くなります。きれいな音を出すときは、このあたりを うちましょう。がっきの よこについている、この スイッチを うごかすと、ひびき<sup>せん</sup>線が、こめんに くつついたり、はなれたり します。そうすることで、<sup>ねいろ</sup>音色が かわります。

## 大だいこ

これは、大だいこです。

ひびきを<sup>と</sup>止める ときは、だめんをおさえます。

## <sup>もっ</sup> 木きん

これは、<sup>もっ</sup>木きんです。ばちを<sup>もつ</sup>もつときは、このあたりを<sup>かるく</sup>かるくにぎるよう  
うにしてもちます。えんそうするときは、ばちで<sup>けんばんの</sup>けんばんのまん中あ  
たりを、<sup>かるく</sup>かるくはずむようにしてうちます。

## てっきん

これは、てっきんです。ばちは、このあたりを<sup>かるく</sup>かるくにぎるようにして  
もちます。けんばんのまん中あたりを、ばちで<sup>かるく</sup>かるくはずむようにして  
うちます。

---